



**<テーマ> メンタルヘルスの課題に対応した実践力の開発に向けて**  
**— 精神保健福祉士養成におけるクリティカルな思考を促す教育法 —**

今日、わが国ではメンタルヘルスの課題が増加し、それらに対応できる精神保健福祉士の養成が求められている。精神障害者の地域移行への取り組みは未だ多くの課題を抱え、高齢精神障害者への支援や認知症対策は多様な人々と連携した包括的アプローチが不可欠である。さらに、いじめや虐待、新たな貧困、自殺、ひきこもりなどの新たな課題も山積している。今日のメンタルヘルスをめぐる現象はいくつもの要因が複雑に絡み合っており、これらの諸問題に対応するソーシャルワークは、状況を多角的に捉え、自ら問いを立て、ソーシャルワークの文脈から内省、分析するクリティカルな思考過程が不可欠である。一方、精神保健福祉士養成課程における学生の現状に目を向けると、物事を受動的に受け入れパターン化した解答を求める傾向が散見され、クリティカルで創造的な思考ができる人材を育成する必要性が増している。今年度の全国研修会では、以上の問題意識に立ち、メンタルヘルスの課題に対応した実践力の開発をメインテーマに据えた。そして、このような実践力の基礎となるクリティカルな思考を促す教育の意義と方法を基調講演、ワークショップ、分科会を通して考えたい。

**<開催場所> 沖縄大学 (沖縄県那覇市国場 555 番地)**  
 那覇バス・沖縄バス『沖縄大学前』徒歩 0 分、モノレール『安里駅』徒歩 20 分、タクシー 8 分

**<タイムスケジュール> (予定)**

6 月 25 日 (土)	9:30~	受付開始
	10:00~10:10	開会式 (開催校挨拶・会長挨拶)
	10:10~11:40	基調講演「精神保健福祉施策の動向と精神保健福祉士への期待」
	11:50~13:10	昼食時間 / ブロック別連絡会
	13:10~16:10	ワークショップ「クリティカルな思考を育成する教授法 — 学生が深くアクティブに学ぶにはどうしたら良いか? —
	16:30~18:30	平成 28 年度 精養協 通常総会 ※精養協会員のみ
	19:00~21:00	情報交換会 会場: ANA クラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 白鳳の間
6 月 26 日 (日)	9:30~12:30	分科会 1「ループリック (評価基準表) の評価への活用」
		分科会 2「アクティブ・ラーニングの実践例」
		分科会 3「養成教育における業務指針の活用」
	12:30~14:30	< 定期企画 > 一般・短期養成施設の集い
14:30~16:30	< 特別企画 > 認定社会福祉士認証・認定機構スーパービジョン説明会	

**【1日目 6月25日(土) 10:00 ~ 16:10】**

**<基調講演> 10:10 ~ 11:40**

**テーマ「精神保健福祉施策の動向と精神保健福祉士への期待」**

〔企画の趣旨・内容〕
平成 26 年に『精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法)』が改正されたことは記憶に新しい。 同法の施行後 3 年 (平成 29 年 4 月) の見直しを前に、平成 26 年 7 月に取りまとめた『長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策の今後の方向性』を踏まえた検討が『これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会』において進められている。 厚生労働省 (精神・障害保健課) の担当官から検討会の議論の方向性を中心に、精神保健福祉士に関連する政策の動向について概説して頂き、協会会長との対談 (代表質問含む) を通じて、これからの精神保健福祉士養成に求められる課題や期待について考えていきたい。

**講 師:** 望月 聡一郎 氏 (厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課心の健康支援室 障害保健専門官)

**対 談 者:** 伊東 秀幸 氏 (田園調布学園大学・本協会会長)

**司 会:** 青木 聖久 氏 (日本福祉大学・本協会副会長)

**<ブロック別連絡会> 11:50 ~ 13:10**

※事前に開催を希望するブロックのみ昼食時間中にブロック別連絡会をランチミーティングで実施します。

各ブロック別連絡会の開催有無については、参加票発送時にご連絡する予定です。

<ワークショップ> 13:10 ~ 16:10

テーマ 「クリティカルな思考を育成する教授法—学生が深くアクティブに学ぶにはどうした良いか?—」

〔企画の趣旨・内容〕

多様化・複雑化する精神保健福祉の歴史的課題やメンタルヘルスの課題に対応する精神保健福祉士は、問題現象を多角的に捉え、ソーシャルワークの文脈から分析し、適切な方法を選択して働きかける実践力が必要である。精神保健福祉士養成課程において、この実践力の基礎となる「問いを立てる力」、「内省的思考を通して状況を深く理解する力」を養うことが不可欠であり、教員には学生のクリティカルな思考を育成し深い学びを促す教育の実践が求められる。

本ワークショップでは、昨年度の全国大会でアクティブ・ラーニングを促す教授法についてご教示頂いた佐藤浩章先生に再びご登壇頂き、クリティカルな思考を育成する教授法を実践的に学ぶ。参加教員が自らの授業を振り返り、学生が深くアクティブな学びを通してクリティカルな思考を身につけていくにはどうしたら良いかを具体的に考え、実践力の開発に向けた授業展開を検討する機会としたい。

講 師：佐藤 浩章 氏（大阪大学全学教育推進機構准教授・大阪大学教育学習支援センター副センター長）

司 会：岩本 操 氏（武蔵野大学・本協会研修部会長）

\* 16:30 ~ 18:30 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会 平成 28 年度通常総会

< 移 動 > ※総会終了後、会場まで大型バスを運行します。

\* 19:00 ~ 21:00 情報交換会 於：ANA クラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 白鳳の間

【2日目 6月26日（日）9:30 ~ 12:30】

<分科会1> 9:30 ~ 12:30

テーマ「ルーブリック（評価基準表）の評価への活用」

〔企画の趣旨・内容〕

ルーブリックとは、「目標に準拠した評価」のための「基準」作りの方法論であり、学生が何を学習するのかを示す評価規準と、学生が学習到達しているレベルを示す具体的な評価基準を、マトリックス形式で示す評価指標である。

今年度は、昨年行ったルーブリック作成と改訂（ブラッシュアップ）作業を踏まえ、実際の評価に焦点を当てたい。

ルーブリックを活用することによって、評価項目と評価スケールを学生と教員が共有することが学習効果にどのように役立つのかということ、演習形式で検討したい。実際にルーブリックを活用した取り組みについても、ディスカッションを行いたい。

※参加者には、ルーブリックの作成をお願いします。詳細は、ウェブサイト等にてご連絡いたします。

講 師：長崎 和則 氏（川崎医療福祉大学・本協会研修担当理事）

司 会：吉池 毅志 氏（大阪人間科学大学・本協会研修委員）

<分科会2> 9:30 ~ 12:30

テーマ「アクティブ・ラーニングの実践例」（仮題）

〔企画の趣旨・内容〕（仮）

アクティブ・ラーニングとは、思考を活性化する学習形態といわれ、講義形式による知識の伝達とは異なり、ディスカッションや体験型学習など実際の動きを通して学生が理解を深める方法である。精神保健福祉士養成課程でもアクティブ・ラーニングを取り入れた授業展開が期待され、昨年度の全国本研修会では2日間にわたりその方法論を学ぶプログラムを設定し、多くの参加者から好評を得た。

本分科会では、昨年度の研修内容を発展させ、実際に授業でアクティブ・ラーニングを導入した際の課題や、難しさなどを実践例として3名の方にご発題頂く。後半はグループディスカッションを通してアクティブ・ラーニングにおける課題の整理と具体的な改善点、工夫点について共に考え、学び合う機会としたい。

コーディネーター：橋本 みきえ 氏（西九州大学）

司 会：行實 志都子 氏（神奈川県立保健福祉大学・本協会研修委員）

話題提供者： 調整中（2名程度を予定）

※話題提供者・内容等については、確定次第、ウェブサイト上でご連絡します。

<分科会3> 9:30 ~ 12:30

テーマ「養成教育における精神保健福祉士業務指針の活用」

〔企画の趣旨・内容〕(仮)

日本精神保健福祉士協会は平成24年に「精神保健福祉士業務指針及び業務分類第2版」(以下、第2版)を公表し、精神保健福祉士の実践力向上にむけた第2版の普及啓発と活用を推進している。第2版では、精神保健福祉士の業務を「精神保健福祉士にかかわる諸問題を精神保健福祉士の理念・視点から分析・解釈し、ソーシャルワークの知識や技術を活用して状況に働きかける具体的行為・表現内容」と定義しており、精神保健福祉士の業務を力動的かつ内省的に捉える枠組み(共通言語)として、養成教育や実習指導場面での活用も期待できる。

本分科会では、第2版の趣旨と概要を紹介し、業務指針の意義を参加者と共有したい。そして、現場の実習指導者の方々にもぜひご参加頂き、教育と実践をつなぐツールとして業務指針を活用する方法を、グループワークを通して考えたい。

講師：岩本 操 氏(武蔵野大学・本協会研修部会長)

司会・コーディネーター：田村 綾子氏(聖学院大学・本協会研修委員)

茶屋道 拓哉氏(九州看護福祉大学・本協会研修委員)

<定期企画> 12:30 ~ 14:30 一般・短期養成施設の集い

〔企画の趣旨・内容〕

平成25年の全国研修会より、一般・短期養成施設の集いを全国研修会時で定期的に設けている。研修会が教授法中心となり、本年度は次年度に引き続き、ランチミーティングとして集いを開催し、養成施設独自の教育、4年制大学等における養成教育の違いも含め、養成施設における教育の役割について考え、語り合う場としたい。

担当：安元 紀子 氏(九州医療専門学校・本協会副会長) / 吉澤 豊 氏(日本福祉教育専門学校・本協会理事)

【特別企画・希望者のみ】14:30 ~ 16:30

<日本ソーシャルワーク教育団体連絡協議会主催 認定社会福祉士認証・認定機構スーパービジョン説明会>  
認定社会福祉士認証・認定機構が定めるスーパービジョン説明会を併せて開催いたします。

同封の別紙ご案内を確認の上、6月10日(金)までに窓口団体である日本社会福祉教育学校連盟にお申し込みください。全国研修会のみのお申し込みでは、参加することができませんので、ご注意ください。

担当：石川 到寛 氏(大正大学名誉教授・本協会監事) / 松本 すみ子 氏(東京国際大学・本協会理事)

【その他の連絡事項】

\* 講演・タイムスケジュール等の内容は現時点のものです。一部変更となる場合もあります。

【関係学会：日本精神保健福祉学会全国学術研究集会の開催について】

\* 全国研修会前日の2016年6月24日(金)に関係学会の「第5回日本精神保健福祉学会全国学術研究集会」が同会場の沖縄大学で開催されます。入会・申込等の詳細は下欄の学会事務局にお問い合わせください。

一般社団法人日本精神保健福祉学会 2016年度 第5回学術研究集会

開催日：2016年6月24日(金) 会場：沖縄大学

テーマ：「精神保健福祉医療を地域の社会・歴史から考える - チャースガナマカラ(これからどうする) -」

※午前中に自由研究発表(発表演題募集締切は5月15日(月)17:00【厳守】まで)、午後より総会ならびに當山富士子氏(沖縄戦・精神保健研究会会長、元沖縄県立看護大学教授)の基調講演「未だ終わらない沖縄戦—精神保健の視点から—」、シンポジウム「復帰前後から現在に至る沖縄の精神保健福祉医療について」、大学内にて情報交換会を開催します。

【学会への入会及び学術研究集会申込に関するお問い合わせ】

一般社団法人日本精神保健福祉学会

大会に関する問い合わせEメール(沖縄大会実行委員会)：conference@jassmhs.jp

入会に関する問い合わせEメール(学会事務局)：mail@jassmhs.jp

ウェブサイト：http://www.jassmhs.jp/index.html

## ■ お申込方法 ■

係る費用のご入金後、6月10日(金)17:00までにインターネット上の専用フォーム

【 <http://qq4q.biz/tzGE> 】へ進み、必要事項を入力してください。

- ※ 上記の専用フォームのURLは、URL短縮サービスを利用しています。
- ※ 各会費・お弁当代を振り込み後、専用フォームを入力してください。
- ※ 専用フォームは1名ずつ入力してください。
- ※ 振込は複数名分まとめた振り込みでも構いません。(その場合も、フォームは1名ずつ入力)
- ※ 参加票等送付先を所属機関ではなく、自宅を希望する際は、専用フォーム入力後に、必ず氏名を記載の上、Eメールで住所をご連絡ください。
- ※ 宿泊につきましては紹介・斡旋いたしません。各自でご手配ください。
- ※ キャンセルにつきましては6月13日以降、受け付けませんので予めご了承ください。
- ※ 領収書の発行は、原則1名ごとに「ご所属+お名前」にて発行いたします。
- ※ 参加票や会場のご案内等は、6月13日頃の発送予定です。

\*\*\*\*\*

## ■ 各種費用 ■

### < 研修会費 >

- |                    |  |
|--------------------|--|
| ①会 員…1名につき13,000円  | 会員…主催・共催団体の会員校の教職員または本協会に5月31日(火)必着で入会書類を送 |
| ②非会員…1名につき18,000円  | 付いただいた養成校・団体の教職員                           |
| ③実習指導者…1名につき3,000円 | 実習指導者…養成校の実習生を受け入れる現場の精神保健福祉士・社会福祉士の方      |

### < 情報交換会費 >

25日：8,000円 会場：ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー  
沖縄で創業40年の歴史を持つ老舗ホテル！沖縄らしいお食事をご用意します！



### < 昼食代 >

両日お弁当をご用意いたしますので、ご希望の方はお申し込みください。

25日・26日：日替わりお弁当(お茶付き) 価格1,000円

「てるしのワークセンター」(就労継続B型事業)の日替わり幕の内弁当をご用意します！

#### 【昼食注文の際の注意事項】

- ※ 内容が変更になる場合があります。
- ※ 完全予約制です。当日申込は受け付けていません。
- ※ 代金につきましては、原則として研修会費と合わせてお振り込みください。
- ※ 当日は引換券と交換となります。昼食引換券(後日送付)を必ずご持参ください。
- ※ お弁当のキャンセルによる返金はありません。

\*\*\*\*\*

## ■ お振込口座 ■

三菱東京UFJ銀行 普通預金 <sup>ヨツヤ</sup> 四谷支店 店番051

イッパンシャダンハウジンニホンセイシンホケンフクシシヨウセイコウキョウカイ ケンシュウグチ カイチョウ イトウヒデユキ  
一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会 研修口 会長 伊東秀幸

口座番号 0041166